

資料 3

新たな「京都市動物園構想」目次構成（案）

1 現構想の総括

- (1) 共汗でつくる新「京都市動物園構想」の概要
- (2) 現構想に基づく施設・エリア整備
- (3) 現構想に基づく整備の効果

2 京都市動物園の現状

- (1) 種の保存の取組
- (2) 動物福祉の取組
- (3) 生き物・学び・研究センターの取組
- (4) 教育普及事業
- (5) WAZA への加入
- (6) イベントの実施
- (7) エコ・Zoo の取組
- (8) 安全対策
- (9) ボランティア
- (10) 野生鳥獣救護事業

3 京都市動物園の役割

- 1 : 種の保存・環境保全
- 2 : 研究
- 3 : 教育・環境教育
- 4 : 娯楽・観光

4 京都市動物園が取り組む課題

- 課題① 「生命をつなぎ、生命が輝く動物園」となるために
- 課題② 「研究する動物園」として発展するために
- 課題③ 「学べる動物園」となるために
- 課題④ 「多くの人が集う動物園」となるために
- 課題⑤ 「近くて楽しい動物園」として進化するために

5 京都市動物園理念（将来にわたって目指す方向性）

6 新たな「京都市動物園構想」の推進戦略（今後 10 年間の取り組みの方向性）

7 新たな「京都市動物園構想」の 5 つの柱と 27 の施策

- (1) 生物多様性の保全に力強く貢献し日本をリードする動物園
- (2) 比較認知科学や動物福祉に関する研究を推進する世界水準の動物園
- (3) 文化教育施設として日本国内のオンリーワンを目指す動物園
- (4) 多くの人が集い、多くの学びを広げる動物園
- (5) 「近くて楽しい動物園」の更なる進化

8 具体的アクションプログラム（仮）

9 構想実現のロードマップ（仮）